

1958 年 7 月 18 日 石岡宛、谷本光典氏からの手紙

〔石岡の苦境を聞いて、暗澹たる思いで書かれた手紙である。石岡の生涯を通して支えてくださった大親友谷本先生ならではの文章に心打たれる〕

今頃こんなことをバカスが声を嗄らして（からして）叫ばねばならぬとは！

啞然とし、次いで暗然とし、正直な話、私は溜声（ため息）をつきました。過去にあれだけの立派な履歴を持ち、将来もまた大きな未知数として注目をそそがれている岩稜会。井上靖の『氷壁』という媒体を通じてではあるが、社会にあれほどの問題を投げつけた岩稜会。屏風岩を登り、東壁を片付け、不幸な事故を単なる事故に終わらせず、あれほど輝かしい教訓を掬み（すくみ）とっている岩稜会。それほどの岩稜会が、今頃あんな基礎的なことでリーダーが心を配らねばならぬとは、ちょっと信じられない気がします。しかし現実の問題としてバカスがああ言わねばならぬ事態が生じているとすれば、あの文書を以て全会員の反省を求めねばならぬことも当然でしょう。会の中の指導的分子にリーダーシップの欠けていること、人の和の乱れ、会員一人ひとりの自暴目的の主張、分派行動といったような、山岳会として致命的な欠陥が現れたことは推察出来ますが、あの文書の中に、それが具体的に書かれていないことが残念です。あなたとしては、それは読む人が自分の胸に聞けばいいと思われるでしょうが、そのような無自覚分子は、抽象的な注意ではなかなかぴんとこないものです。そんなことで判る人は、最初からそんな方へ間違っただけのものです。具体的に、あの時のあれはこう、これはこうと実際に起こった事を指摘して、注意を喚起するという方法をとられるとよかったのではないかと思います。そのことがたとえしばらくの間、会の中へ気まずさを持ち込んだとしても、やがては正しく消化されて行くものだと思います。私の想像するところでは、会の中で石原兄弟派の反逆的行動、ダラ幹化が根底にあると思います。あなたも言われる通り、こんな問題は歯に着物を着せてはいけないと思います。会員とあの文書の内容で会談される時、必ずその点を補足される（具体的な事実を引き合いに出す）ことを希望します。

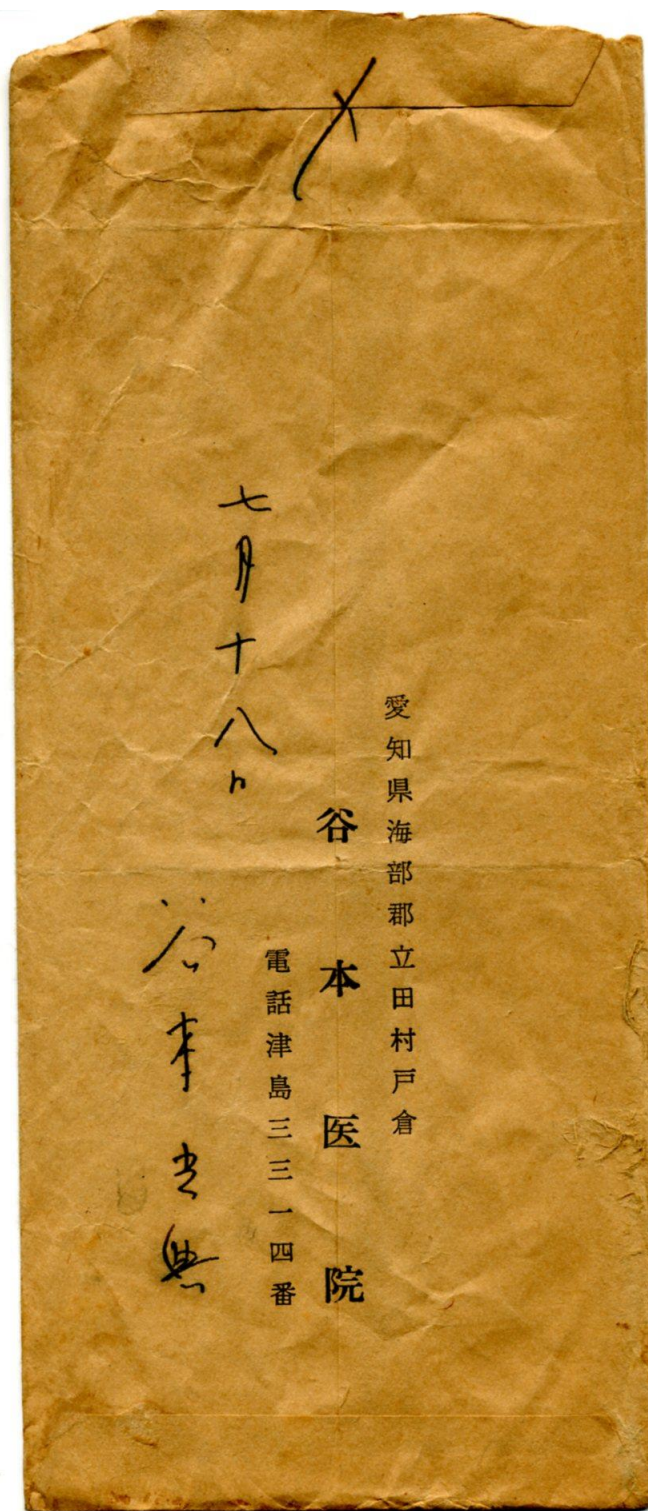
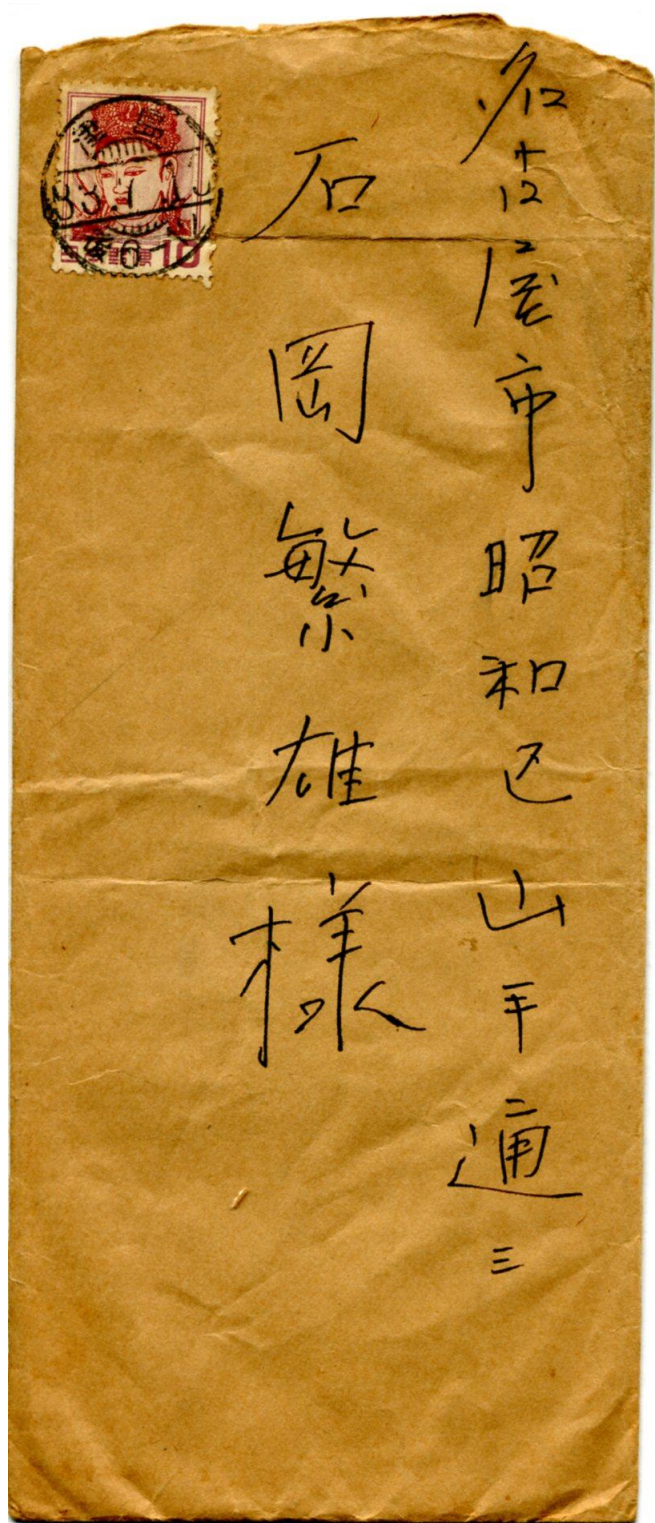
観門(観法：意識を集中させ、特定の対象を心に思い描くことによって仏教の真理を直観的に認識しようとする修行)とは誠に名ばかり、口クな知恵も出ませんが、以上のように思

います。

実をいうと私は最近、あなたや岩稜会に関したことはありませんが、信賴していた人から手ひどく裏切られて、広い意味の人間に対する不信といったようなショックを受けた直後です。あなたの持ち出したケースはそれとは全然違いますが、山と、それを介しての人間同志の間柄に不信を基底とするトラブルが起きているのと、殊にそれが信賴している岩稜会の出来事だというのは一層ショッキングに感じます。願わくば、この大きな障害を効率的に乗り切って、岩稜会が大きく飛躍してほしいと衷心より祈っています。誰にも傷がつかないようとか、世間体が悪いとか、あの人の顔を立ててとか、コソクな手段を選ぶことなく、根本的な対策を立てることが肝要です。

以上、とりとめなき乱文、御判読下さい。難関をうまく乗り切られることを心より祈ります。 おたに 拝

バックスどの



今頃こんなことをバカスカの声を囁かし、叫ばねばならぬとは！
 突然とし、次々と暗然とし正直な話私は溜息をつき、
 過ちにあらだけぬ流れは願望を持ち、将来も又大きな
 未知物として注目をも、かいつらる岩稜會、井上靖の氷壁
 と、お媒体を通じてはあるか、社會にあら程の問題を
 投げつけた山稜會、屏風岩と登り東壁を片付け、
 不幸な事故も單なる事故に終らせ、あら程輝か
 教訓を掴みとする山稜會、その程の岩稜會が今頃
 あんな基礎的なことを、リーダーが心を配らねばならぬとは
 ちよと信じられない気がします。この現実の問題とし
 てもあるが、言はねばならぬ事態が、いさとすれば、
 あの文書と、金會員の反省と求めねばならぬとも当然で
 しょう。會の中の指導的分子にリーダーとしての欠け、いさ

人の和の乱れ、會道一人一人の自己目的の主張、分派行動、
 といった様な、山岳會と一、致命的な欠陥が現れたことは
 推察出来る事だが、あの文書の中に、それが具体的に書かれ
 ていることが残念です。あなたとしては、それは読む人が
 自分の胸にきけ、と思はれようが、その様な無自
 覚な人は、抽象的な注意ではなかなか心と心ないもの
 です。そんなことを判る人は最初からそんな方へ期待し
 てゆかないものですよ。具体的にその時の流れはこう、これはこう
 と實際に起った事を指摘し、注意を喚起するといふ
 方法をとられると、まあたうたうたはいいかと思っています。
 そのことだたとえしばらくの間會の中へ伝えずとも
 採り込んでくつても、やがては正しく消化されて行くものと
 思います。その想像するところは、會の中で石原兄弟派

逆

の叛~~逆~~的行動、さう幹化が根底にあると思ひます。
 あなたも言はれる通り、之は問題は遂に着物をき
 せうけいけなしと思ひます。會道とあの文書の内容
 が會談される時、決するの契を補足される（具体的に
 事實を引きあひに出す）ことを希望します。
 観内と評議は名ばかり、口うな知見をもたぬやうな
 以上の様、に思ひます。

實をいふと私は最近、あなたや岩稜會に属したことをひき
 寄せ、信頼し、友人から手紙どく裏切られて、店に
 意味の人間に対する不信といふたようになつて、
 受け直さざる。あなたを持ち出さなければ
 それとは全然違ひます。山と、それを介して、人間
 同志の間に不信を基礎とするトラブルが起る

といふこと、殊にその如き信賴して、岩稜會の出来事
 がとりかへば一層しヨリキニク感にます。願はくは
 この大なる障害の効果を樂く切に岩稜會が大
 きく飛躍してほしいと衷心より祈ります。誰にも
 傷かゝらないやうとか、世間体が悪いとか、あの人の顔と
 云ふとか、ゴソクな手段と選ぶことなく根本的な対策
 を立てることが肝要です。

以上とりおめなき文而判讀下さい、難固をうまく
 乗り越えることを心より祈ります。

おたに 拜

バウカスと
み